

第3学年 外国語活動学習指導案

日 時：令和4年10月27日（木）第5校時

場 所：3年教室

指導者：

1. 単元名 Unit5 What do you like? 何が好き？

2. 単元の目標

- ・日本と外国の身の回りの物の言い方の違いに気付き、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。
- ・相手に伝わるように、動作を交えたり自分の考えを付け加えたりして、楽しみながらコミュニケーションの大切さを感じ取ることができる。

3. 指導の立場

(1) 教材について

本単元の学習指導要領との関わりは、次の通りである。

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと（やり取り）	イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語彙や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。

児童は、既習の単元「How many～? 数えてあそぼう」において、表情やジェスチャーを工夫しながら、自分や相手の感情や状態を尋ねたり答えたりする活動を通して、コミュニケーションでは、身体表現が大切であることを学習している。また、前単元「I like blue.好きなものをつたえよう」では、「I like ~.」や「I don't like ~.」の表現を使い、自分の「好きなもの」を相手に伝え、自己紹介をした。

本単元でも、「好きなもの」を題材として取り上げ、「What～do you like?」を使って相手の好きなものを尋ねたり、「I like ~.」で答えたりする英語表現に慣れ親しむことを目標としている。単元前半では、「Do you like ~?」を使って、相手の好きなものを当てる活動を行う。「Do you like ~?」だと、相手の好きなものを聞き出すのに時間がかかることを実感させ、その上で「What～do you like?」を取り扱うことで、必然性を持って交流活動に取り組めるようにする。

本時では「What～do you like?」の表現を使い、動作や反応を交えながら好きなものを尋ねたり答えたりする英語表現に慣れ親しむことをねらいとする。そのために導入では、好きなものをジェスチャーで表現しながら chant を歌い、「What～do you like?」や「I like ~.」の表現に慣れ親しむことができるようにする。交流活動では、事前に決めたカテゴリーの中で、言語活動を通して、クラスの好きなものランキングを作る活動を行い、仲間の新たな一面に気付き、コミュニケーションの大切さや楽しさなどを体験的に感じ取らせたい。

(2) 児童の実態

男子9名、女子5名、計14名のクラスである。

明るく元気な児童が多く積極的に活動に取り組むことができる児童が多い。どんなことにも反応がよく、分かることに対する挙手やつぶやきは活発である。しかし、集中が続かない児童が多く、話を最後まで聞けなかったり、気分が大きく左右されたりする児童がいる。

外国語活動の授業には前向きで、進んで教師の言った英語を繰り返したり、英語の歌を歌ったりする児童が多い。特に交流活動には意欲的に取り組む児童が多く、進んで仲間に英語で話しかけたり質問したりすることができる。しかし、英語を使ったコミュニケーションの技能には児童の間の差が大きい。既習の英語表現を使って、積極的にコミュニケーションが取れる児童がいる一方で、英語ではなく日本語を中心に活動をしてしまう児童もいる。これまで交流活動の前に、ALT や代表児童とその後交流活動に即した形のデモンストレーションを行ったり、キーワードとなる英語表現の色をかえて交流活動の流れを板書に残したりして、全ての児童が既習の英語表現を使い、交流活動ができるよ

うに指導してきた。英文として正しく答えることが出来なくても、質問の答えになるキーワードだけでも英語で答えることが出来るようになり、少しずつ英語を使った対話活動ができるようになってきた。しかし、児童の技能には未だ大きな差がある。

本時は、「What ~ do you like?」の英語表現を使い、相手の好きなものを聞き取り、タブレットを使ってクラスの好きなものランキングを作る交流活動を行う。自分の好きなものを伝えるときや、相手の好きなものを聞いた時にジェスチャーや反応を付け加えられるようにしたい。またその交流活動を通して、単元目標である「何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ」ことを楽しみながらできるようにしたい。

前時までに、「What ~ do you like?」の英語表現について学習をし、相手や自分の好きなものを尋ねたり答えたりする活動を行ってきた。本時では、事前に児童自らが選んだカテゴリーの中から自分の好きなものを伝えたり、相手の好きなものを尋ねたりして、クラスの好きなものランキングを作成する活動を行うため、児童は必然性を持ち、意欲的に本時の活動に臨んでいけると考える。

4. 研究との関わり

研究テーマ

言語活動を通して、「学ぶ喜び」を実感しながら、主体的にコミュニケーションを図る児童の育成

I：ジェスチャーや反応などの『+1イングリッシュ』を使うことで、「自分の考えや気持ちを伝え合う力」を育てることができるのではないか。

本単元の交流活動では、好きなものを相手に紹介したり尋ねたりする。英語での意思の疎通を図る際、語彙の不足などにより沈黙が生まれ、不安感を抱く児童も多い。そこで児童が知りたい表現をその場で教え、全体にシェアをすることで言語材料を増やしていく。また、ジェスチャーや反応の仕方などの困った時の手助けとなる表現やストラテジーを指導することによって、児童は諦めずにやり取りを続けようとし、「自分の考えや気持ちを伝え合う力」を育てることができると考えた。また、体を使った英語表現に意欲的に取り組む児童が多いことから、chantの際には好きなものを指で指し示したり、体で表現したりする活動を行う。そうすることで英語を話すことに困難を感じる児童も無理なく、交流活動で自分の好きなものを伝えられるようにしたい。

II：必然性のある課題を投げかけたり、活動を仕組んだりすることで、相手に伝えたいという児童の主体性が高まり、仲間とのコミュニケーションを通して、英語に慣れ親しむことができるのではないか。

本時では、事前に選んだカテゴリーの中で、相手の好きなものを聞き取り、それをもとにタブレットを使ってクラスの好きなものランキングを作成する交流活動を行う。自分たちで選んだカテゴリーの中でクラスの好きなものランキングを作成するという目的意識を持たせることで必然性を持って交流活動ができると考えた。また、タブレットを使ってそれぞれが聞き取った内容をリアルタイムで確認できるようにすることで相手に伝えたい、聞きたいという児童の主体性が高まると考えた。さらに、仲間が質問に答えた際には、言葉(Me too. / I see.)や反応や表情を投げかけることで、コミュニケーションが成立した喜びを感じ、今後も主体的に言語活動を行い、英語に慣れ親しむことができると考えた。

5. 単元指導計画と評価計画（全4時）

	目標	主な活動	評価の観点
第1時	日本語と英語の音声の違いに気付き、身の回りのものの言い方を知ることができる。	身の回りのものの英語での言い方を知り、おはじきゲームを通して、繰り返し英語での言い方に慣れる。	日本語と英語の音声の違いに気付き、進んで身の回りのものについて聞いたり言ったりすることができる。 (行動観察・振り返りカード)
第2時	What ~ do you like?の英語表現や、その良さに気付き、相手や自分の好きなものを尋ねたり答えたりすることができる。	何が好きかを尋ねる表現の言い方を知り、登場人物の好きなものを予想し、尋ねる。	What ~ do you like?の表現を使い、進んで相手や自分の好きなものについて尋ねたり答えたりすることができる。 (行動観察・振り返りカード)
第3時	相手の好きなものを予想して尋ね合う活動を通して、好きなものを尋ねたり答えたりする英語表現に慣れ親しむことができる。	友達の好きなもの（色・フルーツ）を予想して尋ね合い、何が好きかを尋ねる表現の言い方に慣れ親しむ。	いろいろなカテゴリの中から、聞きたいものを選んで、何が好きかを尋ねる表現に慣れ親しむことができる。 (行動観察・振り返りカード)
第4時 (本時)	好きなものを尋ねる活動を通して、何が好きかを尋ねる英語表現が分かり、より相手に伝わるように好きなものを尋ねたり答えたりすることができる。	より相手に伝わるように、ジェスチャーや反応を交えてインタビューをして、好きなものを尋ねたり答えたりする英語表現に慣れ親しむ。	好きなものを尋ねる活動を通して、Me too.などの表現を使い、相手に対して反応したり、自分の好きなものについて動作を付けて伝えたりすることができる。 (行動観察・振り返りカード)

English Plan 3年 Unit5-4 <単元名> 何がすき？

1.本時の目標	好きなものを尋ね合う活動を通して、何が好きかを尋ねる英語表現が分かり、より相手に伝わるように好きなものを尋ねたり答えたりすることができる。		
2.準備	タブレット、振り返りカード、ワークシート		
3.英語表現等	What ~ do you like? I like ~. I don't like~. Me too. I see.		
4.評価規準	好きなものを尋ねる活動を通して、Me too.などの表現を使い、相手に対して反応したり、自分の好きなものについて動作を付けて伝えたりすることができる。(行動観察・発話観察・振り返りカード点検)		
5.指導過程	Student	HRT	JTE / ALT
1.Writing	Lesson6 How to write 'L'.	・声に出して Writing に取り組んでいる児童を価値付ける。	Teach how to write 'L'.
2.Greeting	・挨拶をする。	・挨拶をする。	Greet the students.
3.Chant	♪What do you like ? ♪	・ジェスチャーを付けて、楽しみながら歌う。	Sing a song with the students.
4.Catch	1 分間隣同士で好きな色やフルーツについて話す。 S1&S2: Hello. S1: What color do you like? S2: I like red. S1: Oh,red. I see. ~change~ S1&S2: Thank you. See you.	・前時までの復習を行い、Activity の活動の流れのイメージを持たせ、本時に使う英語表現や反応の工夫を確認する。 I like ~. I don't like ~. / What ~ do you like? ★『+ 1 イングリッシュ』 Me too. / I see. / Oh, ~.	Help students in need. Check today's words and key sentences. I like ~. / I don't like ~. What ~ do you like? / ★Me too. / I see.
5.Aim	クラスの好きなもののランキングを完成させよう。		Let's make a ranking of what you like about our class.
6.Try	【好きなもののランキング】 ・「スポーツ・動物」のカテゴリーで相手の好きなものを尋ね、タブレットの好きなもの表を埋める。 ①ランダムで好きなスポーツを尋ね合う。 A&B: Hello. A: What sports do you like? B: I like baseball. A: Oh, baseball. Me too. ~change~ A&B: Thank you. See you.	・①では、英語表現や『+ 1 イングリッシュ』が優れている児童につき、価値付ける。 ・②では、困り感のある児童につき、英語を使った言語活動を通して好きなもののランキングを作成できるように支援する。 ・中間交流で良かった児童を価値付け、本時の活動ポイント (Clear voice・Response) を確認する。	Introduce students with excellent clear voice and response.
7.Activity	・交流後、聞き取った仲間の好きなものをタブレットで送信する。 ②中間交流の後、ランダムで好きな動物を尋ね合う。 ③埋めた表をもとにクラスの好きなもののランキングを確認する。	・難しかった英語表現や反応の仕方や What ~ do you like?等の英語表現を確認し、②に入る。 ・②の後、児童が埋めた表をその場でグラフ化し、クラスの好きなもののランキングを発表する。	Participate in activities and interview students.
8.Treasure	本時の活動のポイントに沿って振り返りシートを記入する。	・本時のねらいに沿って振り返りができた児童を価値付ける。	Help students write a review of the day.
9.Greeting	挨拶をする。	・挨拶をする。	Greet the students.